

## 令和6年度 第3回就労移行支援事業所等連絡会議を開催しました

令和6年9月6日（金）15時よりエルパークせんだいセミナーホール1、2を会場に「第3回就労移行支援事業所等連絡会議」を開催し、就労移行支援事業所等の支援者20名の方にご参加いただきました。ご参加ありがとうございました。

今回は、「事例を通して学ぶ」～課題の背景を通してご本人をより深く知るためには～をテーマに宮城障害者職業センターの松坂上席カウンセラーよりご助言をいただき、グループワークを行いました。

松坂上席カウンセラーから、問題が生じた際に「～が理由であるだろう」と支援者側の推測で解決策を提案することは実際の原因とのズレが生じる危険性があり、まずは事実を可能な限り把握することが適切な解決策に繋がるとのお話がありました。



松坂上席カウンセラー

グループワークでは、事例の中で明確になった課題にどのような支援をするか、その他就労活動に向けた課題について検討が行われました。

事例の中では、具体的に①確認作業の徹底②コミュニケーションスキルの向上という2つの課題が挙げられていました。確認作業についてはチェックリストの作成、ミスが出ないように工程を細かく区切るなど、コミュニケーションの向上については、事前に伝えることを文章にまとめるなど、様々な意見やアイデアが出されました。

参加された皆さんからは「原因を明確にすることの大切さを学びました」「グループワークで様々な意見を聞き、支援の幅を広げていきたいと感じました」といった感想を伺うことができました。



グループワークの様子